

令和6年10月17日

函館市精神保健ふれあい交流事業スポーツ大会に参加して

佐々木 朗

10月11日、函館アリーナにおいて開催された函館市精神保健ふれあい交流事業スポーツ大会に運営者として参加させていただきました。この大会は、毎年、函館市が主催し、函館レクリエーション協会が主管し、運営を行っているものです。

この日は、利用者及び職員で4チーム50名程、レクリエーション協会は、20名程のスタッフで、運営の全てを対応いたしました。

この日、行った事業は、メインのソフトバレーボールの他、レクリエーションとして玉入れ、的当て、輪投げなどを行いました。

当日は、スタッフは早めに集まり、会長の挨拶、そして事務局長の指示で、ネットを張ったり、ボールが隣のコートに転がらないようにする防球スタンドを設置したりなど、準備作業を進めました。また、後から行うレクリエーションに使う用具も準備しておき、すぐ出せるようにしました。

ソフトバレーで、私は線審を務めました。ソフトバレーは、以前私自身、時々レクとしてはやっていたし、審判もしたことがあります。ただ、ローカルルール的なことがありますので、審判団でしっかりと

ルールを確認しました。あとは、際どいボールは、自分の目を信じて、旗を上げ下げするだけです。

後半のレクでは、参加者の交流ということで、施設のメンバーが入り混じって3つのチームが再編成され、私は青チームを担当することになりました。適宜、サポートに入ったり、参加者に声をかけたりして、運営に協力しました。

午前中の短い時間ではありましたが、みんなの真剣な表情、そして、レクを楽しむ笑顔もいっぱいあって、とても楽しい時間を過ごすことができましたと思います。

私も、運営スタッフとして、諸先輩たちと協力しながら、仕事はできたのではないかと思います。私も、イベントの企画運営



には、数多くかかわった経験があり、当日うまくいくには「段取り 8 割」と思っています。つまり、下準備をきちんとしておけば、当日は、スムーズに流れるということです。まさに今回も、進行表や掲示物、必要な道具が分かりやすく示されていたことが、成功の秘訣だったと思います。

これからも、様々なイベントに参加し、事前の当日の動きを頭の中でしっかりとシミュレーションすると共に、現場では、場の雰囲気を読み。臨機応変に動きが取れるように努力を続けていきたいと思っています。